

142 TWILIGHT CONCERT

堀 正文 (ヴァイオリン)、
藤森亮一 (チェロ) & 加藤洋之 (ピアノ)

入場無料

2025年3月6日(木)

開演 18:30 (開場 18:00) 終演 19:30

三井住友銀行東館ライジング・スクエア 1階 アース・ガーデン
千代田区丸の内 1-3-2 (地下鉄 大手町駅下車 C14出口)




TWILIGHT CONCERT オンライン視聴について

本コンサートは、オンライン中継も行っています。

PC (Windows および Mac)、タブレット、スマートフォンにて
下記サイトへアクセスしご視聴いただけます。

※大量の通信容量が必要になるため、Wi-Fi 環境での視聴を推奨しています。

▼中継ページ URL <https://pr.ij.ad.jp/live/>

▼中継ページ 二次元コード 

主催

株式会社インターネットイニシアティブ (IIJ)
<https://www.ij.ad.jp/>



インターネット黎明期の1992年、日本でインターネットを普及させるという構想を持った技術者が集まり、IIJは設立されました。誰もが安心して使える社会基盤としてインターネットが発展するよう、IIJは卓越した技術力で、現在も技術開発を先導しています。

協賛

株式会社三井住友銀行 大手町エリア・本店営業部・東京営業部
<https://www.smbc.co.jp/>



制作協力

東京・春・音楽祭実行委員会
<https://www.tokyo-harusai.com/>



演奏

日本を代表する弦楽器奏者、
ヴァイオリンの堀 正文とチェロの藤森亮一が、
室内楽の名手でもあるピアニスト加藤洋之とともに送る珠玉の一夜。

曲目

ヘンデル：ヴァイオリン・ソナタ ニ長調 op.1-13 HWV371

フォーレ：シシリエンヌ op.78

蝶々 op.77

エレジー op.24

サン＝サーンス：アレグロ・アパッショナート 口短調 op.43

白鳥

クライスラー：美しきロスマリン

愛の悲しみ

愛の喜び

R. シュトラウス（フバイ編）：あすの朝 op.27-4

シューベルト：ピアノ三重奏曲 変口長調 D28

TWILIGHT CONCERT について

コンサートホールから 大手町オフィス街へ「音楽のおくりもの」

大手町の三井住友銀行ロビーで、2008年より毎月1回「ゆうべの音楽」をテーマにしたコンサートをお届けしています。仕事のあと、あわただしかった一日のおわりに、心地よい音楽で心の充電をしませんか。CD やテレビでは味わえない、生の演奏の素晴らしさを感じてください。

堀 正文（ヴァイオリン）

京都市立堀川高校音楽科を経て、ドイツのフライブルク音楽大学へ留学。在学中より、ハイデルベルク室内合奏団のソリストとして活躍。1974年よりダームシュタット国立歌劇場管弦楽団の第1コンサートマスターに就任。79年9月NHK交響楽団にコンサートマスターとして入団。以来35年間の長きにわたり楽団を牽引し、2015年、名誉コンサートマスターに就任。数多くのソロ・リサイタルや室内楽に幅広く活躍している。また、N響での功績に対して有馬賞を受賞している。その他、ジュネーヴ国際音楽コンクール、レオポルト・モーツァルト国際ヴァイオリンコンクール、シュポア国際コンクールの審査員を務め、桐朋学園大学で後進の指導にあたるなど、日本クラシック界を代表するヴァイオリニストとして精力的な活動を繰り広げている。

藤森亮一（チェロ）

京都に生まれ。京都市立堀川高等学校音楽科を経て、1982年東京音楽大学に特待生で入学。83年第52回日本音楽コンクール第1位。87年NHK交響楽団に入団。90年ドイツに留学し、ミュンヘンでさらに研鑽を重ねる。これまでに、故・徳永兼一郎、上村昇、河野文昭、ワルター・ノータスの各氏に師事。98年モルゴア・クアルテットとして村松賞を受賞。2000年チェロ四重奏「ラ・クアルティエーナ」を結成。07年度第26回京都府文化賞功労賞を受賞。モルゴア・クアルテットとして10年アリオン賞、16年第14回佐川吉男音楽賞奨励賞、17年JXTG音楽賞洋楽部門（本賞）、18年第28回みんゆう県民大賞 芸術文化賞を受賞。現在、NHK交響楽団首席奏者を務めるかたわら、ソロやアンサンブルの領域でも意欲的な演奏を繰り広げ、国内外のアーティスト等と活発に共演。レコーディング活動においては、ソロはもちろん、さまざまなアーティストから絶大な信頼を得ている。また、東邦音楽大学特任教授、国立音楽大学客員教授、東京藝術大学非常勤講師を務め後進の指導にあっている。

加藤洋之（ピアノ）

東京藝術大学附属音楽高校、同大学を卒業。学内で安宅賞を受賞。大学院在学中の1990年ジュネーヴ国際音楽コンクール第3位入賞後に渡欧、ハンガリー国立リスト音楽院でイシュトヴァン・ラントシュ氏、96年よりケルンでパヴェル・ギリロフ氏に師事する。これまでにハンガリー国立響、ブダペスト・フィル、ブルガリア国立放送響、ヘルシンボリ響、日本フィル、東京都響等と協演する他、ハンガリー国営TV、ORF、BBC、スイス・ロマンンド放送、またウィーン芸術週間やプラハの春音楽祭、ルセ国際音楽祭、リムーザン国際室内楽フェスティバル等各地の音楽祭に出演、国内外で活発な活動を続けている。令和元年度文化庁芸術祭の音楽部門で大賞を受賞。